

平成29年度

印西市民アカデミーだより

第20号

第20回 印西市民アカデミー〈1月11日〉

講座 39 〈教育〉

講座名：『地域のかで子どもを育てるには…』

講 師：家庭教育指導員 小島 洋子氏

会 場：本埜公民館 10:00~12:00

現在の子供たちが抱える様々な問題「いじめ・発達障害・児童虐待」について映像を使って、家庭教育



DVDを視聴しながら…

指導員の立場からわかりやすく説明してくださいました。「いじめ」では、早期発見のポイントやその対応

の仕方について、「発達障害」では、障害の特性を知った上での適正な対応の仕方について、「児童虐待」では、しつけと虐待の違いを理解した上での対応の仕方について学びました。講話後、小グループに分かれて、「子供たちのために地域でどんなことができるか」について意見交換を行いました。



自分たちが子供のころは…

地域活動を体験

1月11日(木)、印西市民アカデミー地域活動課程に在籍する8名が「白鳥を守る会」のスタッフとして本埜・白鳥の郷で甘酒づくりや白鳥の餌の運搬等の活動を体験しました。

当日は、一般の見学者のほかに印西市民アカデミー1年生の見学もあり大忙しでした。



甘酒をふるまう



カモが餌を横取り



1袋約30kgの餌(くず米)

講座 40 〈市民活動〉

講座名：『白鳥の郷で地域活動を学ぶ』

講 師：白鳥を守る会 会長 出山 輝夫氏

会 場：本埜・白鳥の郷 13:30~15:30

平成4年12月7日に本埜・笠神地区の田んぼに6羽の白鳥が飛来して以来、その数は年々増加し、平成25年には1400羽を記録しました。



大空を優雅に舞う白鳥

毎年10月の20日頃に飛来し、現在の飛来数は891羽。年によって増減するそうですが、原因は不明とのこと。シベリアから幼鳥を連れて3500kmを旅してきますが、帰路は別行動だそうです。



現在、3種類の白鳥が飛来して…

餌となる「くず米」を確保する苦労もありますが、人と白鳥の癒しの場になるよう頑



会長による餌付け

張っていきたいと力強くお話しされていました。

第21回の予定

■期日：1月20日(土) 10:00~15:30

◇講座41 〈教育〉 10:00~12:00

講座名：『異文化交流講座～共に手を取り合おう～』

講 師：荒川 オクサナ氏

会 場：印旛公民館

◇講座42 〈歴史〉 13:30~15:30

講座名：『歴史を学ぶ！ドラマティック印西③

～明治前期の木下街道と木下～』

講 師：木下まち育て塾 村越 博茂氏

会 場：印旛公民館